

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員や来園者にも目が届くよう玄関に掲示し、日勤職員は夕方のミーティングで復唱し毎日再確認しながら、業務に反映させている			理念の浸透を図る為、当該理念の再確認が日々のミーティングの場で行われています。理念実現の為の取り組みについては毎年度定期的に評価され、その対応策が次年度計画に反映されています。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までも地域との繋がりを大事にしてきたが、今回新型コロナウイルス罹患防止とした感染予防対策の継続により、交流が途絶えているため、今後ウィズコロナに向けた地域交流の方法を工夫し充実していきたい。	町会で花植えし、水やりをして頂く事も考えているとの案もあった事から、コロナ禍で地域との繋がりが薄くなっている為、是非参加していきたい。今後保育園や小学校とのオンラインでの繋がりを動画等の制作物の意見もあった為、取り組んでみたい。		地域行事への参加や活動について新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からその取り組みが困難な状況にあります。管理者はじめホームの職員は地域の一人として、地域住民と接する機会があれば挨拶の励行に努めています。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前回の外部評価でも好評であった食事を年3回に増やし、食事での団らんを楽しみながら意見を言いやすいような環境作りに徹している。昨年度より一時中止しているも、今後新型コロナウイルス感染状況を踏まえ再開時期を検討していく。	今までも運営推進会議での積極的な発言、意見交換もあり、会議で出した内容についての取り組みが積極的であったとの意見もあり、運営推進会議で3回開催されてきた食事が大好評であったがコロナ禍での飲食が自粛されている中、外での食事会開催案があった為、来年度実行していく。		当会議は定期開催されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実地開催は控えている状況にあります。運営状況について書面でやり取りする等、関係性の継続を図っています。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に出席して頂いている民生委員の方や市役所、地域包括支援センター職員への報告と、困った際は相談できる体制を整えている。	運営推進会議に出席している社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員の方、町会長との連携は常に取り合う事が出来、必要に応じて法人グループホーム理事と連携し市役所担当者と直接相談行っている。		運営状況の報告や確認事項について、日頃から行政担当者と連絡を取り合っています。サービスに係る相談については、地域包括支援センター、社会福祉協議会及び民生委員等との連絡を取り合う体制にあります。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体での身体拘束をしない旨の宣言書玄関に掲示しており平成18年度より身体拘束は行わない体制である。更に身体拘束廃止委員会の運営推進会議や職員会議内で開催、又、勉強会の題材としたり、外部研修にも参加している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法に定める規定に則り施設における取り組み、職員が配慮をしていることが運営推進会議においても説明がなされ、利用者のリスクと権利に対する意識付けが図られている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業計画に研修を取り入れている他、勉強会での再確認、虐待禁止のモラル意識浸透、発見した場合のマニュアルとグレーゾーンの確認、又それに伴う職員の心理の解明にあたり原因となるものの早期発見を図る。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人のわがままな感情を入居者にぶつけない為にも研修を重ねてもらいこれまで通り防止に努めて欲しい。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例年では運営推進会議の題材に成年後見制度の必要な事例を組み込み、話し合いを重ねてきたが前年度は運営推進会議の中止が続いた為、今年度の会議での話し合いを設ける			権利擁護について学習する機会を計画し取り組んでいます。 身寄りのない(家族と関係性の薄い)入居者に対する支援について運営に反映できています。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際の十分な説明の時間を設け、質問や意見の聴衆、解決、納得頂けるよう努めている。又、改定時の再説明の他、年1回の個別懇談では重要事項を再度説明したり毎月1回の面会時には質問等の有無の確認を行っている。			法定サービスによる制度・報酬改定、その他、施設契約等の変更が生じる場合は十分な理解が得られるよう、変更が生じる前に時間的余裕を持たせ、本人及び家族が納得できるよう個別説明を行っています。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	苦情の出し方の開示、又年1回の個別懇談の際の意見や要望の徴集、更に月1回の面会時には広報紙と担当者のコメントと状態報告により、意見や苦情の出しやすい環境としながら毎月1回自治会を設け入居者の意見を聞いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の意見を細部まで取り入れてくださり、それを利用者全体に反映するような姿勢に好感を持たれる。(ご家族様)
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は法人の会議の場や事業所の会議に出席し、意見や提案を聞く機会を設けている。管理者は会議の場での意見の他、毎日の朝、夕のミーティングでも発言の機会を設け日々問題解決に取り組んでいる。			代表者は事業所会議に定期的に参加しており、ホーム管理者及び従事者の意見や提案を聞く機会を設けています。管理者はプレイングマネージャーとしての役割を担っていますので現場の意見はダイレクトに運営に反映されやすい仕組みになっています。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパスを設け、職員各々積み重ねてきた経験や実績を踏まえ、将来のレベル到達の見通しを明らかにしている。又、年2回人事考課と個別懇談を実施し、賞与や昇給へと反映させ向上心に繋げている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内における職員のキャリア形成の仕組みは、職員個々のスキルアップと共にサービスの質の向上を図ることとなり、結果として職員の定着にもつながり、適切な考課による待遇は業務へのインセンティブとなる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防対策として外部研修への参加を控えている為、認知症ケア専門士のリモート研修に参加し知識を職員に伝達したり、内部研修、勉強会を充実している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍にあつて、対面による研修への積極的な参加が難しいため、オンライン研修への積極的な参加とOJT、off-JTにより職員への伝達研修を継続することで研修機会を確保し、今後の意欲の持続性を維持する必要がある。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	繋がりは今までもあるものの、近年は新型コロナウイルスへの感染予防対策として積極的な交流は出来ない為、今後は交流に工夫が必要である。			地域包括支援センターが主催する地域ケア会議に参加し、地域の同業者と交流を図っています。 法人内4か所のグループホームについて、相互に実習受入が可能な体制にあり、また、その4か所の事業管理者が集う合同介護を開催することでサービスの質の確保に取り組んでいます。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴を把握し可能な限り以前の生活を継続出来る様に、出来る事は行ってもらえない事は援助しながら手伝い等も行ってもらうなど本人の自尊心を活かし、共に助け合う関係・環境作りとしている。			「暮らしの継続」を重視しており、入居前の暮らしを入居後もできる限り継続できるよう支援し、共同生活での役割を担っていただいています。生活面・医療面に家族を交えて定期的に相談・面談を行い、職員のみで判断することは一切なく、家族へ相談・報告を必ず行っています。受診や行事等も家族に参加していただく等協力体制の下で本人の生活を支援しています。
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時のアセスメントや家族から得た情報、知人の面会時にこれまで関わってきた人や馴染みの場所の把握に努め面会の再来をお願いしたり、回想法にて本人から得た情報を大事にし隣接する特養へ友人との面会している	コロナ禍で馴染みの人や場との接触を避けなければならぬ状況であった為、ほとんど出来ていない日々が続いたが、今までの特養の知り合いや面会者を大切にしたい事で手紙や電話、ガラス越しの面会等で代替え出来ている。		入居時のアセスメントで、本人にとって馴染みの場所や人、趣向等の情報把握に努め、その趣向等を継続できるよう支援しています。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が会長を務める自治会組織があり毎月1回自治会を開き、普段は言えない意見や要望の反映に努めている。普段から担当職員や管理者等とマンツーマンでゆっくり話し出来る時間を設け信頼関係の構築に努めたり、カンファレンス等での発言を助長している。伝えられない方は真意を表情で汲み取る。			入居前面談で、本人、家族、在宅時の介護支援専門員等から、生活歴や既往歴、趣味嗜好、暮らし方の希望等について聞き取り、思いや意向を把握しています。入居後は事前面談で得られた情報を基に関わりながら、言動や表情から今の思いの把握に努めています。会話の中で得られた情報、職員の気づきは申し送りや個人記録等を活用し情報共有しています。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1回、現在の状況を把握してカンファレンスを行い本人の意向を基に職員や看護師の意見の他、年1回の家族個別懇談や月1回の面会時に把握した家族の要望・意見を取り入れながら本人主体の本人の為の介護計画を作成している。	ご家族様より、年1回行う家族懇談はずっと続けて欲しいとの希望も聞かれ、もちろん本人の意見要望を主体とし、家族懇談でのご家族様のご意見ご要望、又、常日頃日常生活や介護に携わっている職員の意見、アイデアを元にケアプランを作成している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を確認し、信頼関係を保ち続けながら、利用者自身を中心に置いた計画を作成し支援を行っている様子が伺え、支援に携わる職員の知識や技術に立脚している。引き続きパーソン・センタード・ケアを意識していくことが重要。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者による月毎の状態や状況、変化等のまとめや計画作成担当者によるモニタリングを実施、ケアプランの見直しや介護の実践に生かしている。又、毎月の会議では個別ケースを職員密に話し合い決定事項の申し送りとし介護の統一に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	支援方針、支援内容について職員間で差異が生じないように職員の間で対応を共有し、利用者が支援を受けることで違和感やストレスを感じたりすることのないよう配慮したプラン作成を意識している。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1回の面会をお願いしており精神安定に努めている他、得られない場合は事情により本人と共にこちらから出向ける体制も整えている。新型コロナの影響で現在は中断しているも遠方からの面会者などに対応し、家族や知人等の宿泊も可能であり寝具や食事の提供も出来る。	コロナ禍で面会規制や外出の自粛等を図ってきた現在、状況に応じた緩和やコロナの次の波が来て規制がかかったとしても、遠方にご家族様へのオンライン面会等、コロナ禍でも出来る体制を構築する必要があるとの意見でまとまった。		医師による訪問診療、訪問歯科、薬剤師による薬剤指導、医療連携加算による訪問看護等、その時々ニーズに対応し必要な人に必要なサービスが提供できるように取り組んでいます。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議等で得た知識を活用したり、地域包括支援センター等にも相談、権利擁護事業の理解に努めている。又、その他のサービスを理解して頂く為に本人、家族、その他の来園者にも情報提供を行っている。	会議にて多職種の皆様より必要な情報提供を受け等資源との協働が出来ていると思う。評価があまり出来ていないとの事はコロナ禍である為と限定的なので緩和や終息時には協働出来る体制である。		本人の意向で地域の公園等への散歩、買い物、地域町内会への行事参加等を通し、地域との一体感ある支援に努めています。現在は、感染症拡大防止の観点から制限しています。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に入居者や家族から受診状況を確認し、入居後も希望するかかりつけ医や専門医、訪問歯科等を受診出来る様に支援している。又、家族が受診対応する場合はサマリーを作成し医師や家族、ホーム間で情報の共有化が密に出来る様に努めている。			入居時に事業所の協力医療機関との提携について説明し、本人と家族の希望を尊重して主治医を決めていただくようにしています。利用者の健康管理については、同法人内の看護師との連携を密に迅速かつ適切な対応ができる体制を整えています。日頃からの健康状態や受診結果の情報は家族と密にし、適切な処置・支援が行えるよう努めています。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や家族、担当ケアマネとの連携を密にし情報の共有化を図り、家族や主治医へサマリーや口頭での詳しい状態報告を行いながら、本人や家族にとってより良いケアとなるように調整、連携を密に行っている。入院中も主治医や看護師と連絡を取り退院の調整も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療・介護の連続性を保ったシームレスな関係性の中で、入退院に伴う利用者の負担軽減や安心感に留意し、業務の上で連携が図り、本人を支える連携のネットワークが形作られており、個々のケースに応じながら仕組みとして定着していくことが重要。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療連携体制を法人の嘱託医や連携看護師による協力体制を整え、24時間の対応が可能である。契約時に重度化した場合や終末期や看取りの方針を本人や家族に確認、更に毎年1回の個別懇談にて再確認、希望や状況の変化に応じ対応できる体制である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	早い段階から本人、家族と話し合い事業所の方針を理解する事が出来て良かった。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時や事故対応のマニュアルを揃えている他、研修への参加、パインの森勉強会の題材としている。又、緊急連絡体制の周知徹底に努め併設パインの看護職員や隣接特養連携看護師との連携体制も整っている。			緊急時や事故対応マニュアルが備わっており、速やかに対応できる体制にあります。症状別の初期対応についても定期的に勉強会を行っています。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	最近での災害の多さを実感し、火災だけでなく地震や台風、大雨の水害等も視野に入れた題材で毎月1回入居者と共に初動訓練行ったり、年2回の総合消防訓練の他、パインの専職員と共に行う1週間連続の初動訓練実施にて急な対応に備える。	入居者目線で避難訓練に参加してみたいとの事であったが、消防の規制上と災害時には地域の助けが必要であることから運営推進会議に避難訓練見学も組み込んで、客観的に指摘や意見を頂く事で職員の勉強になるとの結果、来年度から消防訓練は毎年一度は推進会議メンバーと行う事とした。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・希望があれば町会の消防で協力しますので声がけ下さい。 ・運営推進会議で何度か災害対策について話し合った新たなステップに向けて進む事が出来充実した会議になった。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	常に相手の立場に立った対応、入居者目線での声掛けを行いスピーチロックの禁止、グレーゾーンの態度や言動については都度、注意し合っている。現在は中止としているスーパーバイズでは馴れ合いの排除やユニットのマナー化防止としており、新型コロナワクチン進行状況により再開時期を考慮していく。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	常に相手の立場になり対応している。食事の際でも無口になりがちな人に積極的にプライバシーを損ねない様笑顔で対応している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人がかつて暮らしてきたペースに沿って希望を尊重し、毎日入浴する事も可能。又、過去と一緒に農作業も行い好きな物を栽培、収穫行ったり。料理の味付けも昔の方法を聞きながら行ったり、毎年漬物作りも職員と入居者一緒に共同作業で行う。			日々の日課を設ける事無く、入居者の生活ペースを尊重しています。入浴は出来るだけ希望の時間、回数で対応を行っています。活動の場へ誘導する場合も強制せず、自己選択ができるよう努めています。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	出来る方全員で下膳や食器拭き、片付け等を行う。職員と入居者一緒に昼は同じメニューを食べ朝、夕は同席食べこぼし、介助等にすぐ対応できる。刻み食であった方の食事への認識を養い、取り戻す為常食への移行を行ったり、臨機応変に刻み食への変更もする。毎月弁当の日を設け、好みの物を選んで食べる		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事は施設での生活を充実したものとするとともに、生活のリズムを作り利用者自身の生活習慣の基礎の一つにもなる。そのため、利用者に適した食事の介助を行うこと、また食事に関する一連の作業を共同で行うことなどを通して、食事の行為や時間を充実したものとしている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	栄養士がバランスを考え献立表を作る他、午前午後のおやつ時間に本人の嗜好する飲み物の提供、又水分量を毎回チェックし把握、水分不足気味の方への声かけや、スムーズに飲める工夫をしている。			栄養士による食事献立がなされ、カロリー計算がされています。摂取量の記録を基本にカロリーコントロール、嗜好の有無でバランスを考え、主治医の指示で代替品の提供により栄養を補い、低栄養、脱水のないよう支援しています。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔加算算定にあたり口腔ケアの必要性を職員全員理解し、毎食後の声かけやケアの介助の徹底、清潔保持しながら食事前には口腔体操実施誤嚥防止の取り組みを行っている。口腔内の不具合の際、歯科にすぐ連絡し往診、治療、ケアのアドバイスを頂いている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	誤嚥性肺炎などの重篤な疾病につながらないように日常的な口腔ケアの重要性について職員が共通認識を持ち、清潔保持に配慮をしながら歯科医との連携を図っている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回の排泄時間を記録し入居者一人ひとりの排泄パターンから本人の排泄感覚を把握し、定期的な声かけや早めの誘導、介助にて失敗のない排泄環境に努めておりおむつ外にも積極的に取り組みご家族様の経済的負担軽減を図る。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の排泄パターンを把握しておくことで生活リズムを作り、体調の変化に気付きやすい環境を整えている。また、排泄の習慣化によってそれぞれの状態に応じた排泄の自立へ向けた支援が行われている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本は週2回以上としながらも、殆どの入居者は1日おきの入浴であり、ほぼ毎日入浴している方もいる。一人でゆっくり入れる環境であかすりもゆっくり行っている。長湯の方の体調の確認や入浴拒否にも合った対応を行う。			週2回の入浴を目安としていますが、入浴日や時間は本人の希望を尊重しながら柔軟に対応しています。安全安心に入浴していただく為、入浴前にはバイタルチェックと本人の希望を確認した上で入浴を促すようにしています。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の安眠を促す為、夜眠れない方には日中活動的に過ごしてもらう様援助したり、疲労感見られる際は臨機応変に休息する時間を設けているも夜間の睡眠時間に影響されない様適度な休息とする。			個々の入居者に合わせ、日中に臥床時間とっていただいたり、昼夜逆転気味な方には、できるだけ活動時間とっていただくよう支援しています。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬の処方箋を綴るファイルを置き、いつでも確認できる状態にある。又、服薬変更時は職員全員と看護師へ申し送りし、状態変化にも注意している。又、連携看護職員管理、指示の下、職員3段階確認の上で本人手渡し、服薬終えるまで見守りとしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬表をファイリングし、職員がいつでも確認できるようにしています。効能や副作用の他に医師からの注意点、助言があれば記載し、状態観察の指標の一つにしています。また、大きな症状の変化等がないか観察を行い、気になることがあれば適宜、連携看護職員や主治医に相談しています。日々の服薬支援については、ヒューマンエラー防止の為、職員複数名で一人の入居者に関与し、飲み忘れや誤飲がないように努めています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会や回想法で出た意見や嗜好を尊重し本人のやりたい事、食べたい物、昔行っていた事の復元、漬物作り、その他の作品作り等QOLの向上に努めている。	懐かしの味として毎年秋に漬物作りを行ってきたがコロナ感染防止の為中止としており行事が減っている中、室内での行事の充実や毎日の仕事役割の提供行い皆様にプライドを持ち続けて頂く役割を増やしていく。		食事支度や盛り付け、食後の下膳、掃除等、個々の出来る事を提供し役割が持てるよう取り組んでいます。利用者の楽しみを理解し、継続できるよう、また、新しい事を提供することで次への意欲に繋がるよう支援しています。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の体操の時間の団欒の際や、毎月の自治会の際など常に入居者と話し合える機会を持ち、希望や意見を尊重し期待に添う。現在は新型コロナウイルスの影響で外出を自粛している為、外出に代わる室内行事の充実を図る。前年度は併設パインの車利用者と共に外出行っていた。	今まではコロナ感染を恐れ外出を避けてきたものの、ウイズコロナに向け体制を整えていく時期ではないかとの意見にまとまった。入居者の以前までの意欲をそぐわない様まずは近隣の散歩や周辺の散策、駐車場での日光浴、少人数ずつのドライブ等から再開していく事とする。		コロナ禍以前までは、利用者の希望やADLを考慮して積極的に外出支援を行っていました。現在は感染症拡大防止の為、人が密集するような場所への外出は自粛しています。近隣の散歩、広い敷地内にある畑の手入れや中庭の散歩の支援を行っています。

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己管理ができる範囲で本人に所持してもらう事で安心感をもってもらったり、ショッピングでは金銭感覚を養い、本人の嗜好品を選ぶ楽しみも味わってもらえる様援助している。			本人の生活用品等の買い物について、できるだけ陳列棚から商品を手にとって選んでいただくよう支援しています。また、有する能力に応じて本人に会計をしていただくよう支援しています。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば必要に応じて電話できる。たまに来る手紙への返事や毎年家族や希望に応じて知人などへ直筆を含めた年賀状を全員が出している。			要望に応じて、事務所内にある電話を使用いただいています。希望があれば手紙や年賀状が出せる支援をしています。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースは家庭的な雰囲気を保てるよう配慮し物音や声、テレビ、音楽の音量も不快のない適度な物、又、採光性も良く季節や天候、時間の移り変わりの変化が分かり易い様工夫し、温度湿度計にて調節する。又、集中して食事ができる様、テレビではなく音楽やラジオを流し落ち着いた雰囲気ですり、季節の物を飾り入居者の五感を養う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物全般、個室にも清掃が行き届き、利用者、家族も心地よく過ごせる空間となっている。季節に合わせ窓の開閉にも気を配りあらゆる方面まで工夫されている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者を会長とした自治会があり、毎月行っている。その為、自分の希望や意思の発言も多く聞かれており、催し、希望食その他のおやつ等希望に添ったものの提供行う。又、言いやすい環境作りに徹している。			自らの意思を伝えることが可能な入居者が多く、また、施設内で創設されている自治会が機能しており、意見・要望が反映される環境にあります。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の細かなアセスメントや本人との会話、又、ご家族様や面会に来た知人からの情報を大事にしたり、回想法などで思い出した情報などを元にケアプランにて反映させている。			入居時及び事後アセスメントを定期的実施し、入居以前の暮らし方のできる限り近づけるようケアプランに反映されています。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの主治医を変えず入居後も同じ病院への通院行う。その為、ケアの情報も引き継ぎしやすい。又、安全、環境については各々の状態により、事故の発生をどのように防ぐか日々、何度も話し合いを行う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	在宅生活時から利用している医療機関との連携を維持し、利用者自身が自分の状態を把握し易いストレスの少ない環境を整備し、本人の状態を踏まえたリスクマネジメントに留意している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にアセスメントや面談等で本人の生活ペースを把握、出来る限り自宅での暮らしや環境を変えずに生活出来る様支援、但し食事は3食とも、全員同じ時間に同じスペースで摂り、孤立防止、見当識の維持を図っている			共同生活の趣旨から、施設の定めた日課になってしまいがちですが、以前の暮らしができる限り入居後も継続できるよう一人ひとりに合わせたケアを方針としています。

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の好きな鉢植えを置いたり、過去には、夫の位牌と写真で簡易的な仏壇へ毎日、ご飯とお茶をお供えする習慣を身につけ、認知症進行防止としている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者に合った生活様式をうまく配慮されているので施設の中での生活にとても満足している様子が伺えます。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防対策として、外出自粛している為、戸外には通院以外は殆ど出掛けておらず、室内での行事の充実を図っている。	コロナ禍の現状、仕方がないという意見の中、ウィズコロナの目標を掲げ、来年度は近場のドライブ、運営推進会議好評の外での食事会、ドリカムの再開などコロナ前の生活に戻していける様活動の提供も積極的に行っていく。		感染症拡大防止の為、希望に沿った行動が現在、制限されています。地域の感染状況の実情に応じてその制限を緩和する方向性にあります。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれに役割があり、毎日の日課としている。下膳や洗濯たたみ、洗濯干し、テーブル拭き、食器拭き等の手伝い、自治会での発言、提案、トランプ、花札等のゲーム、互いに助け合って暮らしている。			アセスメント時に「できること」を抽出し、本人の意向に沿って施設内での役割を各々の入居者に担っていただき、本人らしさを追求しています。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日午前には軽い体操も兼ね全員での活動や脳トレを行い、ほぼ毎日全員が参加、午後は個別に好きな活動を行っている。中には花札、塗り絵、裁縫等個々に行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の孤独感の解消を図り、積極的に参加がすることが可能なプログラムや趣味や嗜好を活かしたメニューを準備している。なお、これまでの利用者の経験を活かすことばかりではなく、新たに取り組むことで充実感を得られるような活動も必要。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は民生委員の方の訪問、運営推進会議メンバーとの食事会、バーベキュー等も行い、又敷地内で行われる地域交流会の参加にて色んな方とも交流出来ていたが、現在は自粛中である。	コロナ禍で今年度は全くと言っていいほど出来なかったが、以前は十分にできていたとの評価が多々あり、感染対策を万全に行った上でのウィズコロナに向けた行事の企画を練り積極的に行っていく事とした。		グループ活動も取り入れることですべての入居者が活動に参加する場が提供されています。また、余暇活動では個別の趣味活動も支援しています。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人でなければ本当の想いは分からないものの、認知症がありながらも表情で汲み取る分には満足度は得られていると思う。入居者全員、職員共々毎日明るく笑っている事が多い。	自室で閉じこもる事なくホールで過ごす時間が多い事は充実している生活の証だと思う。という評価もあり、又、ご家族様より面会の際「どこにも行きたくない(ここ以外)」と満足しているとの事であった。これからは全員楽しく明るく暮らしていきたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の表情や施設内での生活状況を客観的に判断することで利用者の満足の度合いを図ることができる。現下の状況では地域との交流に制限があり、社会状況の緊張が利用者の生活へ影響を及ぼすことがないように配慮をし利用者の状態の維持を図り、制限の多い状況の中であっても代替的な方法で支援を行っていくことを職員全員が共有していくことが一層重要になる。